

木曜晴天

一月一日

行動

給養

現員

二月

行動

行動

一 機関ヲ利用シ電線ノ敷工ヲ期スル目的ヲ以テ敬禮濱ヨリ實施ス

ニ 本島ヲ以テビニールトシヤナルビヤノ道ノ修復ヲ完成スヘク全費

張切リ全能力ヲ發揮シ八時集合自動債車一輛ヲ人員器材ヲ

積載シテ出發ビニール北テ五軒ノ橋梁及オビニカラ橋梁

ノ補強作業ヲ實施シ十七時概成ス

三 第四分隊歩兵第百三十三聯隊等ニ大隊ニ配属セラル

携帶口糧ニ依ル飯金炊爨

小隊長以下四十八名

デナルビヤ

一 八時準備ヲ整ヘ前日ノ作業ヲ續行シ十三時完成ス

二 午後八時後ノ作業計畫ヲ立案シ一般兵ニ移動準備ヲ實施セシム

給發  
現員  
命令

前日二同ジ

前日二同ジ

夏六ニ作命落五七號

若林隊命令

十月二十四日  
ナルビ

一、ヒール道復兩作業ハ本日十三時完成セリ

二、小隊ハ次期作業實施ノシメ、カントンニ向ヒ前進セントス

三、各分隊ハ横山軍曹ノ指揮ニ依リ、明日八時迄發準備ヲ完

了シ、宿舎前ニ又路ニテ待機スヘシ

出發ノ時刻ハ八時ト豫定スルモ別命ス

四、兵力器材輸送ハ自隊自動偵察ニ頼ルシメ、同日二分テ

之ヲ輸送シ實施ス

之ヲ細部ニ関シテ、川添兵長區署スヘシ

五、予ハ小隊ノ一部ト共ニ隊一次輸送ニ依リ、カントンニ前進ス

下嶽表要旨口述

隊長

若林

中尉

十月三日

土曜晴天

行動

宿營地  
並現員

一 六時起床一部ヲ以テ糧秣ノ積載ヲナシ宿營地ヲ撤去シ指揮班等  
三分隊及第四分隊ノ殘員ハ袋ニ次輸送トシ八時未發「ガリムロード」  
ニ向ヒ轉進ス

十 野該地到着設營ス

二 第一分隊第三分隊及器材ハ横山尾背指揮シ袋ニ次輸送トナリ  
十七時宿營地出發途中夜行陣ヲ避ケ「ヒテイガン」ニ於テ村落  
露營ヲナス

主力 「ガリムロード」 第一分隊「ヒテイガン」

夏營作命第五八號

若林隊命令

十月三日十三時  
「ガリムロード」

一 小隊二部ハ「カントン」東方三軒「ガリムロード」十二時到着設  
營ス

十月十四日

日曜晴天

行動

一 横山陣曹ハ小隊ノ發部ヲ併セ指揮シ本月中ニヒテイガン  
ニ前進宿營スベシ

輸送ハ兵力器材(兵器)ヲ主トシ積載不可能ナル場合ハ釘  
錢等ノ重量物ヲヒテイガンノ彼場ニ發置スルコトヲ得

三 予ハ現在地ニ在リ

小隊長

若林中尉

下達法 筆記セルモノヲ交付ス

一 八時三十分甲中伍長以下八名宿營地出發附近ノ地形及住  
民ノ状態ヲ偵察ス 其ノ結果附近ノ住民ハ我ニ好意ヲ示サ  
ザルモノノ如ク一段ノ宣撫ヲ行フノ必要ヲ痛感ス

二 横山陣曹ハ小隊發部ヲ指揮シ八時三十分宿營地ヲ撤收シ  
リムドニ向ヒ前進十三時刻地ニ到着ス

三 小隊主力ハ宿營地附近ニ自衛障礙物ヲ構築シ一部ヲ以テ設

營ヲ實施ス

入院中ノ松村上等兵退院適及ス

小隊長以下四十九名 ガリムネード

夏六ニ宿命案ニニ號

告 林 隊 命 令

十月四日十七時  
ガリムネード

一 小隊ハ當分ノ間現在地ニ宿營シ「カントニー」ハウゲン間ノ  
道路補修ニ在セントス

二 各分隊ハ別ニ示ストコロニ依リ設營スベシ

三 警急集會場ハ衛兵所裏廣場トス

四 謀時限ノ左ノ如ク定ム

起 床 六時三十分

目 朝 食 六時四十分

朝 食 八時三十分

月曜時天

五月五日

行動

朝食

十二時

夕食

十八時三十分

日夕吳灯

十九時

消燈

二十時三十分

勤務交代ハ夕食後三十分トス

小隊長 若林中尉

一 八時小隊長以下十二名宿營地出發 自働偵車一ニ依リコヒカン

ニ至リ架橋器材ノ偵察及受領ヲナシ尚患者受診ヲナシメ

十六時歸隊ス

一 幸ラハ破環道路 橋梁ニ筒所焼却セシレアリ 全長六十五米ニ達シ

其ノ架設ハ三十日ヲ要スル見込ナリ

三 藤岡上等兵以下四名隊回令隊ニ連絡シ夕夕出發ス

附陸地  
現員

火曜 天

行動

病營地  
並現員

小隊長以下四十七名 前日二回シ

一 主カ八前日ニ引續キ附近部落ニ至リ材料ノ偵察ヲナセ共材  
料ナキヲ以テ「ナルバガン」ヨリ輸送スル外ナク之ガ爲ニ「バガン」  
リン「四罐」ヲ要セリ。

二 十四時兵器細密検査ヲ實施シ十七時終了ス

前日二回シ

百ハニ休命葉五九號

若林隊命令

十月六日十六時  
ガリムコード

「カンドン」一「米ウゲン」道ノ橋梁ハ隣村ニ破壊サレヤルニ  
如シ

二 小隊ハ主カヲ以テ之ガ強行偵察ヲ實施セントス

三 横山軍曹ハ入分隊兵五名ヲ控置シ主カヲ以テ該破壊

十一月

木曜 雨天

行動

橋梁ノ偵察ヲ實施スヘシ

四向中在長ハ現在此地ニ位置シ殘餘ノ兵ヲ併セ指揮シ宿營地

ノ直接警備ヲ任ズ

五 予六日七日八日三十分現在此地出發小隊並カト共ニボウゲンニ

至リ若ク偵察ヲ指導シ即日歸隊ス

小隊長

若林 中尉

下達法 要旨ヲ述

一 小隊長以下二十名ハ時宿營地出發ガリムヨリト山ノハウクニ

間ノ道路偵察ヲ實施シ其突首ヲ中隊長ノ許ニ至リ

所要ノ連絡ヲナス

二 田中隊長以下十七名ハ材料偵察ノタメカントンニ至ル

三 殘餘ノ宿營地附近ノ土民ヲ使用シ小銃各個掩体ヲ構築ス



宿營地  
並現貨

施

前日ニ同ジ

夏六ニ依命第六ノ號

若林隊ノ命令

十月七日十八時  
「ガリム」ト

一 小隊ハ「ガンドン」ト「ボウゲン」間ノ道路補修ヲ實施セントス

二 横山軍曹ハ各分隊ヲ併セ指揮シ「ガリム」ト東方ニ料及

三 料地點ノ架橋ニ任ズベシ

之ニ要スル架橋材料ハ「ガンドン」及「ガルバガン」ニ於テ收集ス

ベシ

三 松根上等兵ハ自動偵察ニシテ架橋材料ノ輸送ニ任ズベシ

四 第六小隊指揮班ニ在リ

小隊長 若林 中尉

下達法 要旨ニ達ス

十月八日

水曜晴天

行動

一 八時集合 愈々本作業ニ着手ニ部ヲ以テ自動備車ニ輛ニ依リガ  
ンド、海岸ヨリ材料ノ輸送ヲ實施ス

二 「カントン」ヨリ「オウゲン」道入口部障礙倒木ノ爆破ニ依ル排  
除作業ヲ實施ス

三 主カ八上民約三十名ヲ使用シテ、橋梁破壞點ニ至リ燒却殘材  
ノ清掃ヲ行フ

前日ニ同ジ

宿營地  
並現員

十月九日

宝塚晴天

行動

一 横山軍曹以下十六名ハ自動備車ニ輛ヲ以テ、八時ヨリ「ナルハケン」  
支那人製材所ヨリ架橋材料ノ輸送ヲ實施ス

二 十二時神宇上軍兵「ハギオ」ヨリ送及ス

小隊長以下四十八名 前日ニ同ジ

宿營地  
並現員

十月十日

土曜晴天

行動

一八時小隊ハ宿營地出發「カ」リ「マ」ド東方「料」ロ「ビ」カ「レ」ニ至  
リ前日ノ作業ヲ續行ス

七作業ニ上民三十名協力ス

三好兵長以下三名本作業ノ直接警言式ニ任ズ

二十四時河添兵長以下五名自動偵車一輛ヲ以テ「カ」ントン「ル」營  
供隊ニ至リ糧秣ヲ受領ス

前日ニ同ジ

宿營地  
並現員

十月十一日

日曜晴天

行動

八時三十分前日ニ引續キ作業ニ着手「ロ」ビ「オ」附近ノ部落  
民四十名ノ協力ヲ得十九時全長約千米ノ橋梁ヲ完成ス

右橋名「上橋」作業要領別紙等「一」如シ

並  
病  
現  
登  
員  
地

二 田中伍長以下十名ハ自動債車ニ懸ヲ以テカントン海峯附近ヨリ材料ヲ輸送ニ任ス

三 十七時自働債車一輛ヲ以テ、ロビン橋梁ヨリ架橋材料殘部ヲ輸送ヲナス

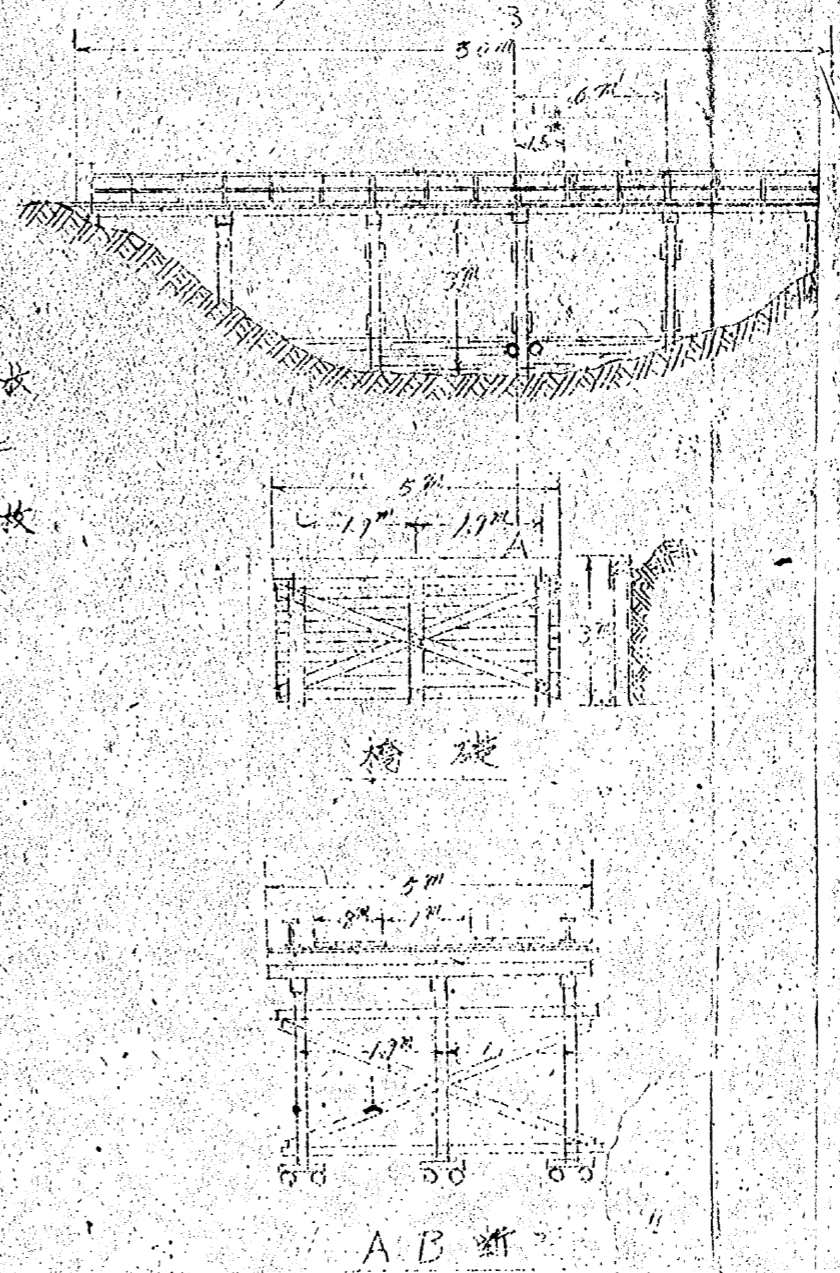
四 徳永衛生兵ハ患者六名ヲ伴ヒカントン警備隊ニ至リ受診セシム

前日ニ同ジ

所需材料

- 橋礎材  $L 30 \times 30 \times 500 = 2$  本
- 列柱  $259 \times 400 = 15$  本
- 冠材  $L 30 \times 30 \times 500 = 4$  本
- 桁  $L 15 \times 77 \times 650 = 15$  本
- 波  $L 5 \times 179 \times 500 = 280$  枚
- 橋下材 = 若干
- 魚鱗板  $L 15 \times 120 \times 60 = 40$  枚

全図



1862

列紙第

# 作業實施報告

第六十五旅團工兵隊若林隊  
陸軍中將若林高行

作業種類 渡河橋架設作業

實施月日 十月六日 六日間

實施場所 ガンソン東方四軒ロビ

作業人員 精銳下士官 兵三八名

實施時間 八時間 作業量 一九六八時

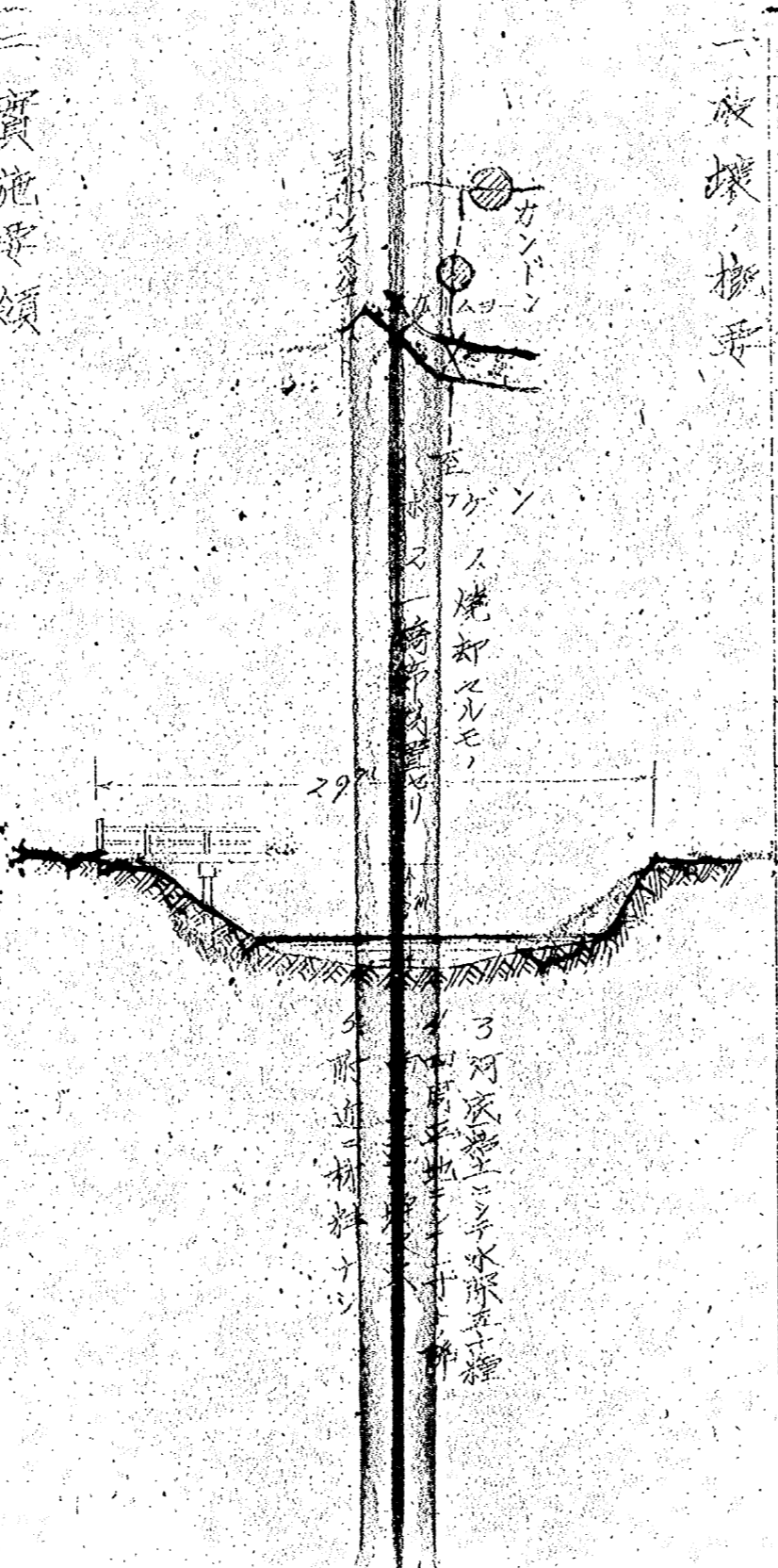
材 陸揚行材料  
應用築頭  
主 五十米

材 別紙材料  
鐵線 五寸三線  
鐵線 三十本  
八十米

一 破壊概要

## 二 實施要領

1. 十月六日〜十月八日三日間列柱及柱材ハカントンヨリ橋板及斜材ハカントンヨリ製材所ヨリ輸送ヲ實施ス
2. 十月九日作業着手予定材料ノ輸送ヲ實施シテラ架設作業實施ス
3. カリムヨリ部落民約三十名協力セシム
4. 十月十日十六時完成橋名土橋トス



十月十三日

月曜晴天

行動

宿舎地  
並地員

十月十三日

行動

天

一 六時半鐘時ヲ利用シ敵襲ヲ受ケタル場合ノ處置ニ就テ演  
習的訓練ヲ實施ス

二 主力八隊ニ號橋梁ハカントノ束ヲ五軒ノ架梁作業ヲ實施ス  
七作業ニ土民三十五名働カス

三 一部八自動偵車三輛ヲ以テ「ナルバ」ト支那人製材所ヨリ掛料  
ノ收集運搬ヲナス

五 松葉上等兵以下六名作業直接警戒ニ在ス

前日ニ同ジ

一 小隊ハ依然前日ノ作業ヲ續行ス

二 砲臺上車兵以下六名 本作業ノ直接警戒ニ任ズ



橋脚地  
並現員

十月十四日

水曜晴天

行動

前日ニ同ジ

八時ヨリ小隊ハ依然前日ノ作業ヲ續行シ十四時今長三十一

\*橋梁ヲ完成シ嚴島橋ト命名ス

作業内容別紙第一ノ如シ

右作業ニ大栗上等以下六名直接監督ニ任ス

ニ本日ヲ以テ「カントン」ト「ホウゲン」間ノ道路修復作業ヲ

了ス

前日ニ同ジ

夏六ニ作命第六一號

若林隊命令

「カントン」ト「ホウゲン」間ノ架橋ハ本日十四時完了ス

ニ小隊ハ「ハナヨ」道及「カントン」大橋補修ヲ為シ「カントン」

十月十四日十四時  
「カントン」

察地  
並現員

1865



北方五軒の製糖工場ニ轉移セシトス

三河添兵長八朔十五日前西又ノ人員ヲ率ヒ該地英ニ至リ設營

ニ在ルベシ

自動偵察車一輛ヲ附ス

四小隊主カ八朔後日(十六日)現在地ニ出發スベシ

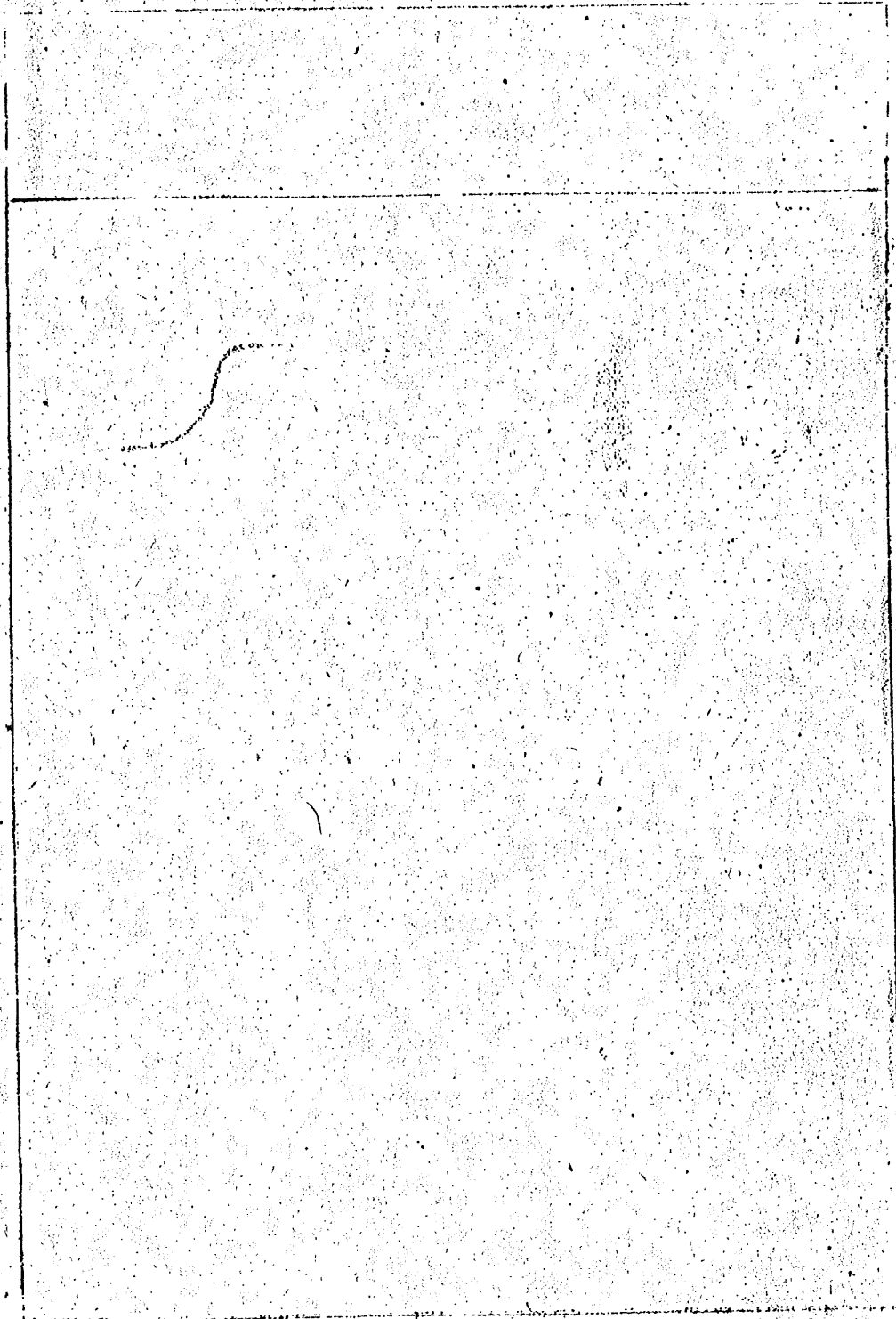
五予ハ現在地ニ在リ

小隊長

若林中尉

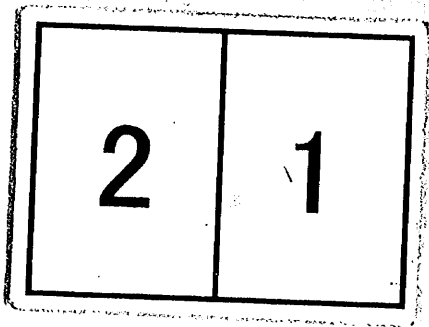
下森法要旨ヲ達ス

1866



1867

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	作業実施報告
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

# 作業實施報告

第五旅團三隊若林隊  
林高行

作業種類 渡河架橋作業

實施月日 十月十一日 三日間

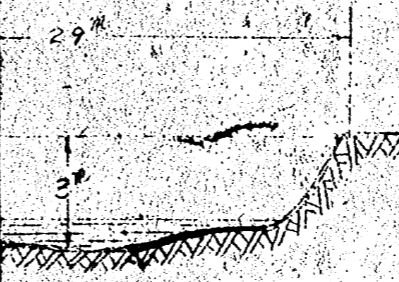
實施場所 カンドニ 兼方五科バタシ

作業人員 四十二名 作業時間 八時

作業量 九八四時

主用谷材	小工土工器具等部	使用材料	別紙表、外
釘	五寸	釘	五寸
鋼線	四本	鋼線	四本

## 一 破壊ノ概要

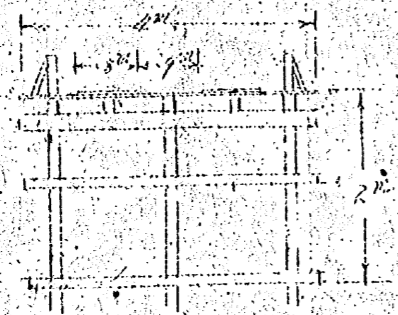
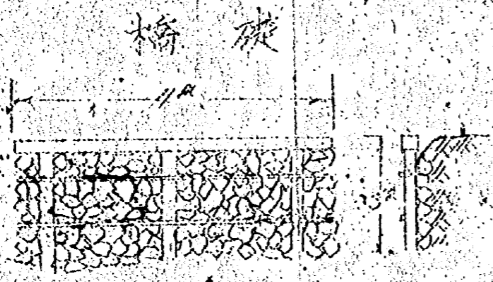
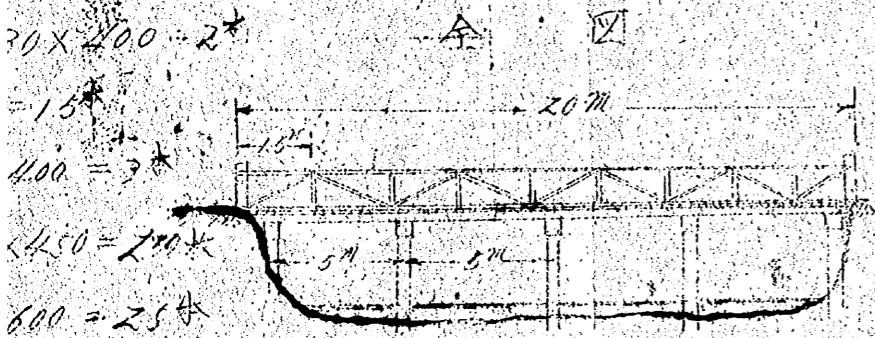


- 河底粘土ニシテ水深五十煙
- 河底平地ニシテ一トノ降河受
- 附近ニ材料ナシ

## 二 實施要領

- 橋板類ハアルバケルソノ製材所ヨリ輸送ス
  - 列柱材カンドニ海軍附近ヨリ輸送ス
  - 十百自動貨車ニ頼リ右材料ノ輸送ヲ實施ス
  - 十月十四日架設作業十四日十四時完成
- 本橋名ハ高橋

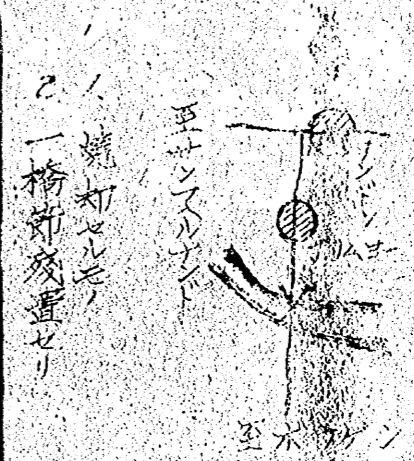
## 三 實施要圖



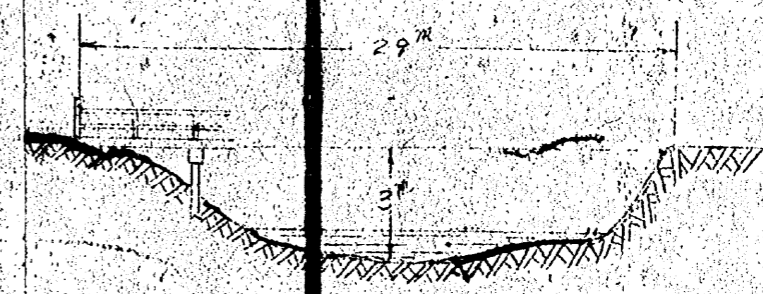
1868  
1869

主用器  
ワイヤー  
頭  
一本

一、破壊機要



使用材  
釘  
各五寸  
一本

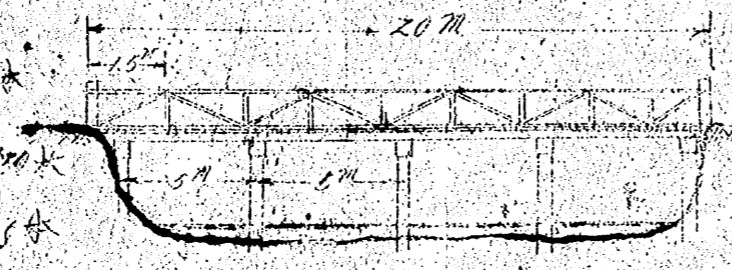


3. 河底粘土ニシテ水深五十煙  
4. 河川平地ニシテ一ノ降  
5. 附近ニ材料ナシ

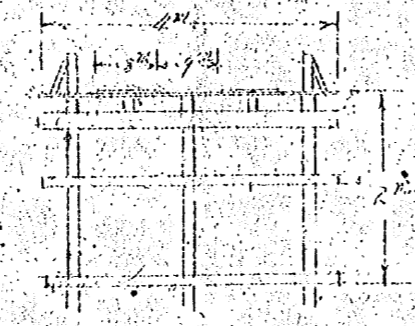
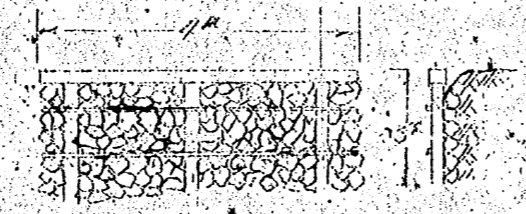
二、實施要領

1. 橋板類ハ「ハルバ」ノ製材所ヨリ輸送ス
2. 列柱冠材「カンド」ノ海軍附近ヨリ輸送ス
3. 十音自動貨車ニ依リ右材料ノ輸送ヲ實施ス
4. 十音四日架設作業十四日十四時完成
5. 橋名「高橋」

三、資施要圖



橋板



所需材料

- 橋板材 L 30 X 30 X 200 = 2\*
- 列柱冠材 L 25 X 30 = 15\*
- 冠材 L 30 X 30 X 400 = 2\*
- 橋脚材 L 5 X 15 X 450 = 2\*
- 橋脚材 L 10 X 25 X 600 = 25\*



十月十五日

小躍晴天

行動

一八時川添兵長以下八名自動偵察一輛ヲ以テ「ラングランガ」ニ至  
リ設營ヲ實施ス

二五カハ器材ノ整備手入ヲ實施ス

前日ニ同ジ

病營地  
並現員

十月十六日

全躍晴天

行動

(當日ニ當リ)

一十時靖國神社臨時大祭送拜式ヲ舉行ス

二七時四十分小隊ハ病營地ヲ撤收ス 突ニ突ニ分隊ヲ先發トシ

自動偵察車ニ輛ニ依リ「ラングランガ」ニ向ヒ出發ス

十六時小隊ハ新病營地ニ到着設營ス

小隊長以下四十八名「ラングランガ」

病營地  
並現員

夏六番衛命等二三號

若林隊命令

十月十六日十四時  
ワングワング

一 小隊ハ現在地ニ宿營セントス

二 各分隊器材照河添兵長ノ指示ニ依リ別ニ示セルトツクニ依

リ設營スベシ

三 小隊警戒ハ銃前哨ニ依ルベシ 特ニ橋梁分哨ト連絡ヲ密

ニスベシ

四 糧秣ハ携帯口糧ニ依ルベシ

五 八現在地ニ在リ

小隊長 若林 中尉

下達法 要旨ハ左

十月十六日  
土曜晴天

行動

一 小隊主力ハ八時三十分ヨリ附近部落ヨリ設營材料ヲ收集齎

宿營地  
並現

營ノ請設備ヲ行フ

備ヲ行フ

一 橋梁分哨々舎ノ構築及障礙物構築ノ多ク準  
ニ 午後八小隊全員ニ對シ敵情ニ即應スル現地教育ヲ實施ス  
小隊長以下四十八名 節目ニ同ジ

夏六ニ作命第六ニ號

若林隊命令

十月十七日十五時  
ラングランガ

一 西地區警備隊ハ管下各分哨防禦設備ノ強化ヲ企圖ス  
ニ 小隊ハ一部ヲ以テ夕ダゲデン橋梁分哨ノ陣地補強ヲ實施セシ  
トス

三 横山軍曹ハ第一隊ニ分隊ヲ併セ指揮シ作業隊トテ朋十八日  
夕ダゲデンニ前進シ該地橋梁分哨々舎ノ構築並抵抗線ノ補  
強ヲ實施スベシ

此ガ為對譯一名自動偵車ニラ既屬ス



丁酉 天  
八月十八日

四田中伍長ハ現在地ニ位置シ、ハナヨヨク方面ノ架橋材料ノ復

察ヲ續行スベシ

五、添兵長ハ右作業隊ニ對シ糧秣五日分ヲ交付ス

六、金子兵長ハ作業隊ニ對シ左記器材及資材ヲ交付ス

木工具

一組

釘

一樽

鐵

一樽

七、松根二等兵ハ自隊自動偵車ニテ整備シ各車ニ約二〇〇軒走

行分ヲ準備シ明十八日八時三十分横山澤曹ヲ指揮ニ入ルベシ

八、予ハ現在地ニ在リ

小隊長

若林 中尉

下澤法 森崎 中尉

行動

一 八時横山軍曹ハ第一隊二分隊ヲ併セ指揮シ自動偵車

ニ輛ニ依リ「タゲデン」所「ヒ」オ「橋梁分隊」ニ向テ出發ス

八時半分 田中伍長以下十名 宿營地出發「ハナ」ヨ「方面」ノ道

路及架橋材料ノ偵察ヲ實施ス

三 十一時横山軍曹「ヒ」ヨ「ニ」到着同時鐵橋「ゲ」ト「ノ」移動準備  
作業ヲ實施ス

大衆兵長以下四名 直接警戒ヲ任ス

小隊長以下四十八名

（辛カ）「コ」ン「ク」ラ「ン」カ  
「一」部「ハ」「タ」ゲ「デ」ン

十月十九日

日曜日

行動

一 横山軍曹ハ依然前日ノ作業ヲ續行ス

午後八時地方氏五十名ヲ使役シ自衛抵抗線ヲ構築スシ十七時完成

ス（作業内容別紙ノ如シ）

二 田中伍長ハ小隊長餘ヲ指揮シ宿營地附近要所ニ防禦陣地

爲警此  
並現實

ノ樽築ヲナス

前日ニ同シ

1875

別紙第三

# 作業實施報告

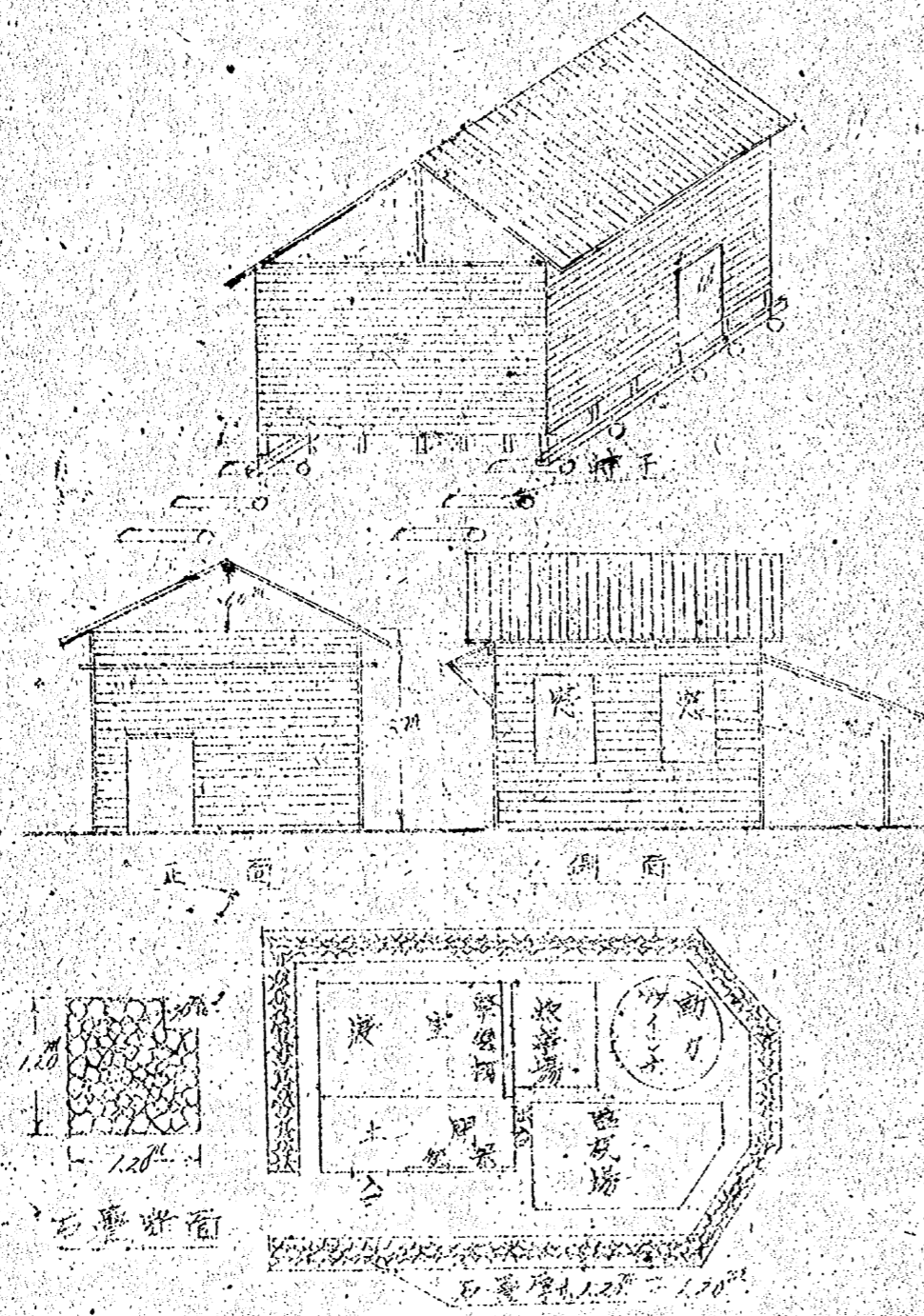
第六十五旅團工兵隊若林隊  
陸軍中尉若林高行

作業種類 哨舍(一箇分隊收容)の構築及自衛障礙物構築

実施月日	十月十八日 二日間	實施場所	夕方(イ)町(イ)橋梁分哨
作業人員	下士一兵二十三名 大 曹長一名 作業時間 自0800 至1800	實施時間	七時間 作業量 七五六人時
材料	一中山錫 四 一木工道具一式 一熱底錘 四 一石工道具 若干 一鐵線 若干 一應用錘子 八〇水使	材料	板 5x10x60 二〇枚 石中至三〇粒 一〇〇〇〇 ケト八〇、四米平方高廿米一家

## 一 實施要領

1. 十月十八日(イ)町橋梁枕間所、家一部ヲ救地ヲ離ス
  2. 同日五斗米位薪干ニ依リ移轉ヲス
  3. 十月十九日午前中、人夫約五十名ヲ使用、薪干ニ依リ五百米移動ヲシ、目的地ニ遷移ス(三好兵長以下六名)
  4. 兵長以下、人夫約二十名ヲ使用、哨舍(イ)町(イ)橋梁分哨ヲ構築ス
  5. 同日午後、薪干作業及寝床、及銃架其他補備作業、障礙物構築ヲ實施ス
- 十時完成



十月二十日

火曜晴天

行動

一 主力八八時三十分ヨリ前日ニ引續キ防禦陣地ヲ構築シ行ノ

二 横山軍曹ハ八時宿營地ヲ撤收十時出發小隊長カノ許ニ歸隊ス

三 午後ハ兵器器材ヲ入整備ヲ實施ス

四 川添兵長ハ自動偵車ニ依リ「カント」ノ警備隊ニ至リ小隊長

蘇ヲ受領ス

小隊長以下四十七名「ラン」ヲシケル

十月二十二日

水曜晴天

行動

一 自動偵車ノ故障ニ依リ之ガ修理シメ田中伍長約一週間修

定メ以テハ辛オニ出張ス

右警戒シメ河添兵長以下十六名同行ス

病患地 並現員 十月三十日	金曜時天	病患地 並現員 十一月二十四日	土曜時天 行動
一 小隊主力八現在地ニ位置シ横山陣曹ヲシテ工兵操典(後部)ニ 學科ヲ實施ス 二 傷木上等兵以下四名療養タメハヤオシ旭兵舎ニ後送ス 三 小隊長以下十六名 前日ニ同シ	一 小隊ハ午前中工兵操典(後部)ニ學科ヲ實施ス 二 十時ヨリ体力検査及競技ヲ實施ス 前日ニ同シ	一 上利兵長以下四名「カント」ニ警備隊ニ連絡ス 二 午前中陸軍禮式令、陸軍刑法懲罰令、教育ヲ實施シ十時 ヲリ銃銃各個教練ヲ實施ス	一 上利兵長以下四名「カント」ニ警備隊ニ連絡ス 二 午前中陸軍禮式令、陸軍刑法懲罰令、教育ヲ實施シ十時 ヲリ銃銃各個教練ヲ實施ス

宿營地  
北見員  
七月 十五日

前日ニ同ジ

月曜晴天

行動

一 午前中衛生法、救急法、教育ヲ實施ス  
二 上利兵長以下四名糧秣受領ニ任ズ  
三 午後八時般、武器、被服、手入ヲ實施ス

宿營地  
並現員  
十月 十六日

前日ニ同ジ

曜晴天

行動

一 午前日築城、教範ニ就キ教育ヲ實施ス  
二 午後(至十時)敵火ノ下ニ於ケル散兵壕ノ構築ヲ實施シ特  
ニ穩耐持久ノ精神ヲ養成ス  
前日ニ同ジ

宿營地  
並給養  
十月 二十七日

火曜晴天

行動

病營地  
並現場

一 午前八時病營地附近ニ於テ戦闘各個放練ノ實施ス  
二 午後八時操放範ニ就キ序科ノ實施ス  
前日ニ同シ

水曜曇天

行動

病營地  
並現場

一 午前八時操場及遊戲場ノ設備ヲ入  
二 午後八時築城班放練機関銃座ノ構築ヲ實施ス  
前日ニ同シ

土曜晴天

病營地  
並現場

一 小隊八年前午後ニ互リ突撃作業班放練ヲ實施ス  
前日ニ同シ



二月三十日

金曜晴天

行動

密着地  
並現員

十月三十一日

二曜晴後曇

行動

密着地  
並現員

一 小隊八年前中陣中勤務之實施ス

午後八時營地附近ニ於テ持テ亦候ノ動作ニ就テ實戦的ノ  
訓練ノ實施ス

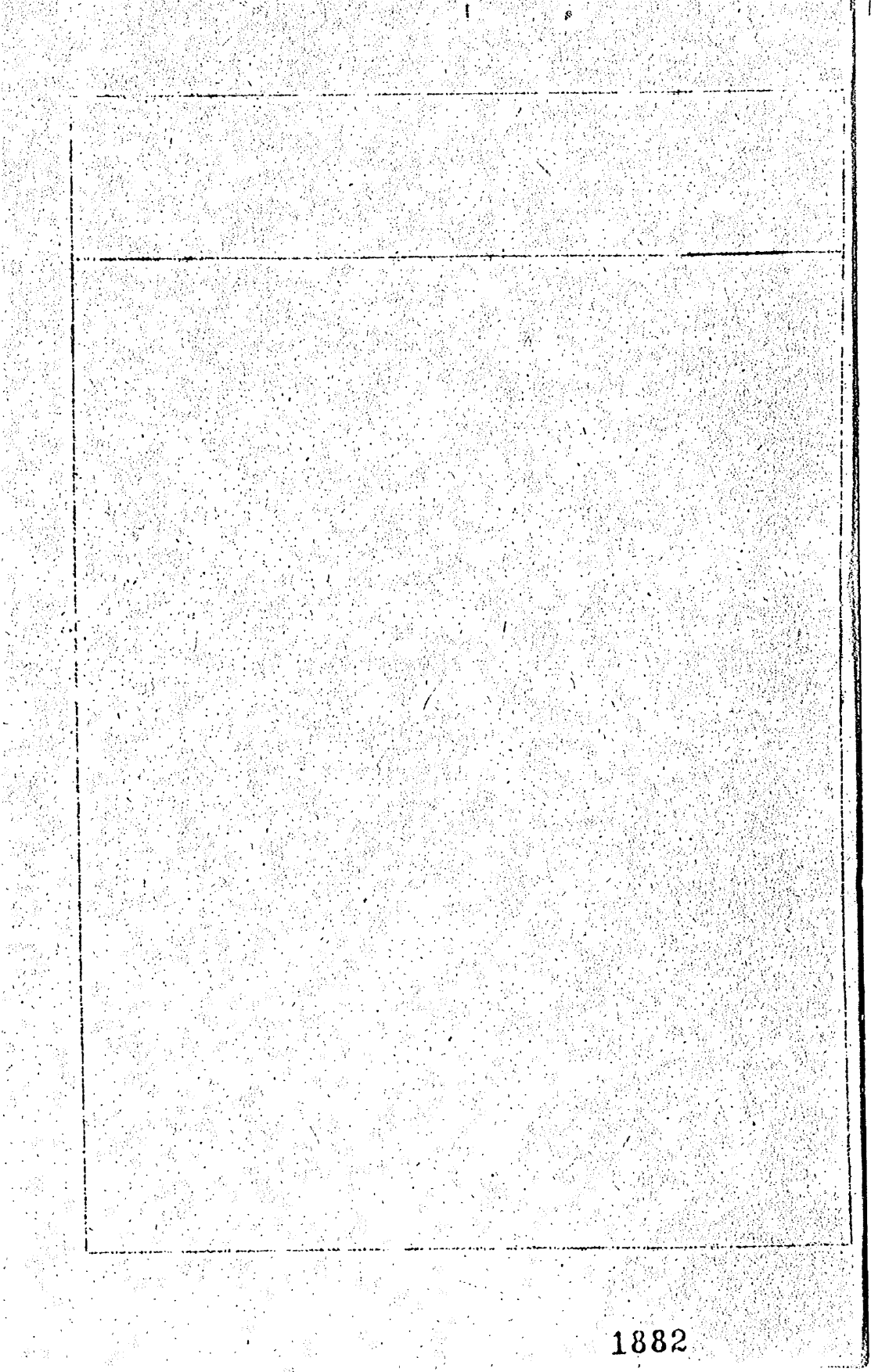
前日ニ同シ

一 午前中執銃教練密集ノ動作ニ就テ教育ス

二 午後八時斗各個教練ノ實施ス

三 上利兵長ハ糧秣受領ニ任ス

前日ニ同シ



1882